

会社	会社名	株式会社千葉銀行		
概要	従業員数	4,280人（平成28年3月末）	業種	銀行業

1. ねらい

子育てや介護等による制約に関係なく、意欲・能力のある社員が活躍できる職場を目指す。

2. 施策内容

① 働き方・休み方改革

○ 業務効率化の促進

- ・「イクメン・イクママカエルみえる化キャンペーン」：退行予定時刻を机に掲げることにより、育児者を中心に早期退行しやすい雰囲気を醸成。
- ・「業務効率化及び早帰り推進委員会」を平成25年9月に頭取の発案で立ち上げ、活動。本部、営業店問わず、全社的な公募で業務効率化案を選出し、仕事の見直し、IT化の推進、事務の本部への集約等に取り組んでいる。
- ・勤務時間の柔軟性を高め、効率的な働き方を実現する仕組として、「自己選択による時差出勤制度（セレクト勤務）」を導入。
- ・早帰りが出来ている店舗には管理職の人事管理が優れており、業績面でも高いパフォーマンスを示す例が多く、取組内容を社内報や社内ビデオニュースで紹介し、銀行全体で共有している。
- ・勤務時間の短縮を支店の業績評価に反映、人事考課項目に「タイムマネジメント」を追加する等、限られた時間で成果を上げる意識づけを強化。

○ 有給休暇取得の促進

- ・年次有給休暇取得促進の取組：年初に年次有給休暇取得の年間計画を職員が策定。連続休暇（年1回、連続5営業日）やWLB休暇（年1回、半日×2日も可）等取得を推奨。
- ・リフレッシュ休暇（連続5営業日、勤続15年・20年、55歳）、健康管理休暇（35歳、45歳、55歳の人間ドック受診者）、配偶者出産特別休暇（3営業日）、子の看護のための特別休暇（小学校6年生まで対象を拡大）等、休暇制度を整備拡充し、有給休暇の取得を後押ししている。
- ・年次有給休暇の取得状況については労働組合でも管理をし、職員へフィードバックしている。

○ ダイバーシティの推進

- ・「仕事も育児も！！すてきなパパ宣言」：配偶者が出産予定の男性によるイクメンの行動宣言。配偶者の産前、出産時、産後、1歳以後に年休を使って何をやるかを報告することとし、宣言書に育児休業の取得計画欄も設けた。これにより所属長も制度を理解するようになり、取得が進んでいる。
- ・事業所内保育所の設置（平成27年3月より運営開始）。

② 仕事と介護の両立支援

- ・家族の介護を目的とした特別休暇の整備（毎年度5日、対象が2人以上の場合は10日、半日単位での取得が可能）
- ・提携介護事業者のサービス利用料金の免除・割引。
- ・介護に関連する情報をまとめた「仕事と介護の両立支援ガイドブック」を制定。

3. 取組実績・効果

○業務効率化による所定外労働時間の減少

平成27年度下期における一人一ヶ月当たりの平均時間外（営業店）が前年度比で1.6時間減少

○年次有給休暇の取得状況

平成27年度：66%（平成21年度から9ポイント上昇）

○男性の育児休業取得率

平成27年度：61.6%（平成21年度から56ポイント上昇）

○女性活躍推進法に基づく優良企業認定マーク「えるぼし」（最上位）の取得